



衣類バンク事業に インナーなど寄贈

秩父の島崎、県社協に

秩父市でインナーウェアを製造販売している「島崎」（嶋博之社長）は、県社会福祉

協議会の衣類バンク事業に、タンクトップや半袖インナーなどの衣類約380点を寄贈した。

2018年度に始まった衣類バンク事業は、県社協が県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会と共同で生活困窮家庭に新品や未使用の子ども服などを届けている。22年度は509件4213点の子ども衣類や靴、文房具などが寄せられた。

県社協の上木雄二副会長から感謝状を手渡された嶋崎社長は「子どもの支援に役立てていただきたい」と述べた。

県社協は「衣類の在庫が少

なくなっており、思うように届けられていない。自宅に眠っている服があれば、ぜひ寄付してほしい」と呼びかけている。

衣類バンクの問い合わせは、県社協生活支援課（5048・822・1249）へ。

（高梨肇）

県社協の上木雄二副会長（右）から感謝状を贈られた嶋崎博之社長＝秩父市の島崎本社（県社協提供）